

新城市黒田で、名所などを巡る周遊イベント「黒田ラウンダバウト」が24日に開かれる。住民有志の実行委員会が初めて企画した。

化財の望月家住宅、市指定文化財の木造阿弥陀如来坐像などがあり、自然と文化財が点在する。イチョウの黄葉が見頃になる時期に巡ってもらう。「フォト」「アート」「フード」の三つのエリアを設ける。フォトは宝昌院を、アートは黒田集

や愛知で撮影会を開く。年1回同市西部地域センターで作品展を続けているが、ギャラリーで披露するのは初めて。今回は15人が各2点を披露。大半がこの2、3年以内に手掛けた新作、近作だ。湖西や豊橋などの近場の風景をはじめ、

線など、多彩な作品が並ぶ。メンバーの小松勝久さんは「バラエティーに富んで良い写真展になった。今後も無理せず続け、意見が合えばギャラ



常盤会写真クラブ

150周年のバトン引き継いで

児童ら節目祝う 豊橋豊南小で式典

の披露初みキャラクター念着

豊橋市立豊南小学校で20日、創立150周年記念式典があった。全校児童118人とその保護者、教職員が参加。来賓として歴代校長や同窓会長、地域の自治会長も出席し、節目を祝った。

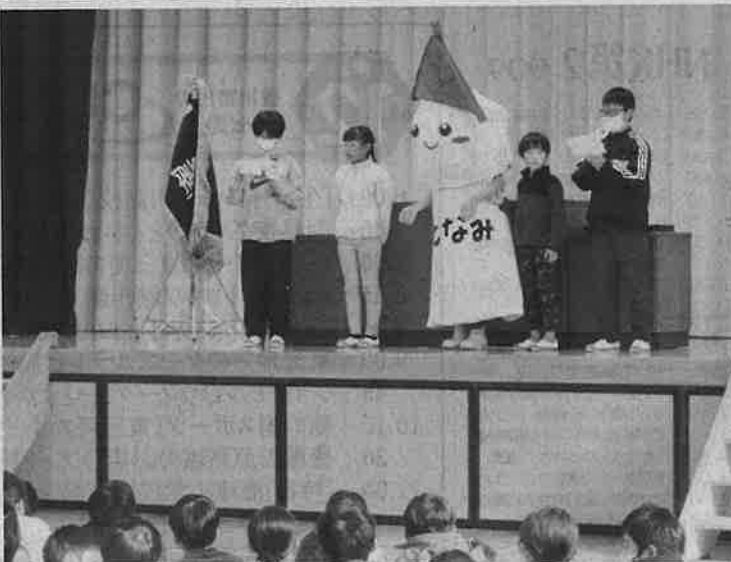
式典は体育館で開かれた。PTAからの記念品贈呈や、県警音楽隊の交通安全教室や記念演奏があった。行進曲やアニメ

の名曲などを演奏し、女性隊員「フレッシュ・アイリス」によるパフォーマンスもあった。児童会による企画として、児童考案の150周年記念キャラクター「たけなみ」の着ぐるみが初めて披露された。学校の歴史や地域の特徴をなぞったプロフィールを題材にしたクイズもあった。在校生を代表し、6年

生の加藤萌菜さんは「私には、得意な英語を生かして世界で活躍できる人になりたいという夢がある。この学校で友達と学び合い、協力し、心身を鍛えることは、皆さんの夢に近づく一歩になると思う」と語った。

中村宏校長は学校の歴史を紹介し「この式典は目に見えないバトンが皆さんに渡される式でもある」と、学校で学んだことや心を受け継ぎ、将来の夢を実現し、幸せな時代を生きてほしいと結んだ。

【岸侑輝】



150周年記念キャラクター「たけなみ」の着ぐるみ初披露＝豊南小で

22～24日 おでかけスポット

イベント

【とよはしキラキラ☆イルミネーション2025】来年2月14日まで、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ、豊橋市まちなか広場、駅前大通り、広小路通り、ココラフロントで、「冬空のヒカリ散歩」をテーマにした、企業や大学

年代から現在までに制作された原画、版画、グッズなど約300点を展示。中には今展のために制作された、豊橋を題材とする新作2点も並ぶ。豊橋市美術博物館(0532・51・2882)。

【第8回とよはしシンポジウム「三河湾の残石—吉田城と名古屋城の石垣—」】22日午後1時から、豊橋市公会堂で。名古屋城築城の際に三河湾で切り出され、現在も現地に残される石垣石材「残石(ざんせき)」と名古屋城、残石を利用した吉田城を通して、三河湾産石材の城郭利用について考える。定員600

【子どものための科学展2025】30日まで、豊橋市視聴覚教育センターで。「見つめよう自然、楽しもう科学」をテーマにした、企業や大学高校による科学体験・工作、小中学生による科学作品展。視聴覚教育センター(0532・

【子どもたちの科学展2025】30日まで、豊橋市視聴覚教育センターで。「見つめよう自然、楽しもう科学」をテーマにした、企業や大学高校による科学体験・工作、小中学生による科学作品展。視聴覚教育センター(0532・

める。毎冬恒例の個展で、などを描いた作品が